

授 業 科目名	【 G 】	情報社会論	区 分		開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	情報社会論	選 択			【 H 】 2		【 H 】 2
科目区分	専門科目：【 G・H 】教科及び教科の指導法に関する科目（－・－・－・情報）							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【 G 】 教員の免許状取得のための（－・－・－・情報必修）科目						
		【 H 】 教員の免許状取得のための（－・－・－・情報必修）科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等		教科に関する専門的事項：「情報社会・情報倫理」（高一種免情報）						
サブ タイトル	高度情報社会の課題を考える					担当者	渡邊 美樹	
授業概要	【概要】	ICT技術を前提とした高度情報社会における諸問題を中心に考察する。授業では、最先端技術をめぐる社会的問題をはじめ、今後予測される状況などについて講義を行います。						
	【到達目標】	情報化の進展がもたらす利便性と問題点を理解し、最近の技術的变化を俯瞰しながら、今後の高度情報社会に対応するための思考力を養います。						
履修条件	特になし。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－（当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－（当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎（よく当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－（当てはまらない）					
他科目との 関連性	情報関連科目全般。							
教科書	授業中に、適宜、紹介します。							
参考書	授業中に、適宜、紹介します。							
評価方法	授業への参加態度30％，学習到達度の確認70％							
フィードバック 方法	質問については解答を，コメントシートについては解説を行います。							
評価基準	授業内容について，よく理解している場合は，その程度に応じてSまたはAを，理解が一部不十分な場合にはBまたはCを，また，理解が不十分な場合には，その程度に応じてDまたはEと評価します。なお，最終授業への欠席など評価不能の場合にはFとなります。							

授 業	【 G 】	情報社会論	区 分	開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	情報社会論	選 択		【 H 】 2		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	イントロダクション(講義の進め方など), 高度情報社会における課題について						
	予習: シラバスで授業内容(テーマ)の確認をすること(80分程度)			復習: シラバスの確認など(110分程度)			
2	ITからICTへ						
	予習: ITとICTについて調べておくこと(110分程度)			復習: 資料の再読など(80分程度)			
3	デジタルデバイド						
	予習: デジタルデバイドについて調べておくこと(110分程度)			復習: 資料の再読など(80分程度)			
4	放送と通信						
	予習: 地デジについて調べておくこと(110分程度)			復習: 資料の再読など(80分程度)			
5	デジタルプラットフォーム						
	予習: プラットフォームについて調べておくこと(110分程度)			復習: 資料の再読など(80分程度)			
6	サイバーセキュリティの脅威						
	予習: サイバー犯罪について調べておくこと(110分程度)			復習: 資料の再読など(80分程度)			
7	ブロードバンドインフラの機能						
	予習: ブロードバンドとは何か調べておくこと(110分程度)			復習: 資料の再読など(80分程度)			
8	トレーサビリティー						
	予習: トレーサビリティーについて調べておくこと(110分程度)			復習: 資料の再読など(80分程度)			
9	広告コミュニケーション						
	予習: 広告コミュニケーションについて調べておくこと(110分程度)			復習: 資料の再読など(80分程度)			
10	デジタルデータの利点・問題点						
	予習: 利点と問題点について調べておくこと(110分程度)			復習: 資料の再読など(80分程度)			
11	5Gのもたらす社会						
	予習: 5Gについて調べておくこと(110分程度)			復習: 資料の再読など(80分程度)			
12	生成AIのもたらす社会						
	予習: 生成AIについて調べておくこと(110分程度)			復習: 資料の再読など(80分程度)			
13	インターネット上の規制						
	予習: 規制する法について調べておくこと(110分程度)			復習: 資料の再読など(80分程度)			
14	授業内容の確認						
	予習: 第1～13回の授業の確認をしておくこと(120分程度)			復習: 資料の再読など(70分程度)			
15	学習到達度の確認および総括など						
	予習: 第1～第14回の授業の復習(120分程度)			復習: 総括について復習のこと(70分程度)			
その他	情報環境の変化等により, シラバスの内容を入れ替えることがある。						